

浜の壁新聞 ～ 浜から、海から ～

【宮城県漁業士会中部支部：情報発信・受信ニュースレター】

旬な漁業の現場から ～会員の取組を紹介します～

平成 26 年度宮城県農業士・漁業士退任者感謝状贈呈式及び認定証交付式が開催されました

本年 6 月 9 日、宮城県庁において、平成 25 年度をもって退任される漁業士の方々に、村井知事から感謝状が贈呈されました。また、新たに指導漁業士、青年漁業士に認定された皆様には、村井知事から認定証が交付されました。

中部支部では、豊島富美志指導漁業士(JF 石巻市東部支所所属、H6 認定)と阿部喜久男指導漁業士(JF 石巻地区支所所属、H12 認定)が退任されることとなりました。お二方には地域の中核的漁業者として、長期にわたって地域漁業の発展や後継者育成などに御尽力賜り、これまでの御活躍に敬意を表します。

新たに中部支部では、須田稔樹さん、大澤幸広さん(ともに JF 表浜支所所属)が指導漁業士として、阿部豊さん(JF 表浜支所所属)が青年漁業士として認定されました。今後、地域漁業の発展のため、中核的漁業者として御活躍いただけることを期待しております。

なお、今回のお二方の退任及び新たに 3 名の方が認定されたことにより、中部支部漁業士は指導 28 名、青年 8 名の計 36 名となりました



※認定証交付式当日欠席されました須田稔樹指導漁業士、阿部豊青年漁業士には、後日東部水産漁港部佐藤部長から交付させていただきました。

“聞き書き甲子園”海の名人に伏見眞司漁業士が選ばれました！

“聞き書き甲子園”とは、農林水産省を始め関係 7 団体が組織する実行委員会が主催となり、10 年前から開催しているものです。海・川とともに生きる優れた知恵や技を持ち、地域生活に染み込んだ生業を究め、地域の人々や他の漁業者の模範となっている達人を「海・川の名人」と称し、全国の高校生が、現地で達人にインタビューし、「海・川とともに育んできた生活技術の大切さ」や「海・川とともに生きることの豊かさ」を学び、記録に残すことで、後世に伝承していこうとするプロジェクトです。

平成 26 年度は県漁業士会から中部支部の伏見眞司指導漁業士(JF みやぎ石巻地区支所運営委員長)を推薦させていただき、海・川の名人全国 20 名のうちの一人として選ばれました。伏見漁業士には、次世代を担う高校生に、ご自身の熱い想いを伝えていただければと思います。



伏見 眞司 指導漁業士
(平成 8 年第 29 号指導認定)

浜情報 ～カキの水揚げが始まりました！～

平成 26 年度のカキの水揚げが開始されました。渡辺悟指導漁業士(JF みやぎ石巻地区支所所属)は、石巻市荻浜地区でカキ養殖に従事しています。「震災直後は、全てを奪っていった海が嫌いになり、怖くなってしまった。海から離れるか悩んだ時期もあった」、「漁業の生産環境は徐々に震災前のレベルまで復旧してきている」「目の前の仕事を精一杯頑張っていく内に、やっぱり海での仕事はいいなと思えるようになるといい」と笑顔でお話し下さいました。

美味しい宮城のカキを、我々事務局も積極的に堪能しながら、全国の皆さんに向けて関係機関と連携して PR していきたいと思ひます。



渡辺 悟 指導漁業士
(平成 20 年第 117 号指導認定)

平成 26 年東北・北海道ブロック漁業士研修会と東日本女性漁業士交流会が開催されました

東北・北海道ブロック漁業士研修会及び東日本女性漁業士交流会は、毎年各県持ち回りで開催されておりました。震災の影響により本県での開催が見送られていましたが、震災から 3 年が経過した本年 6 月 26 日に宮城県松島町で開催することができました。

各県漁業士との意見交換会では、震災からの復旧・復興状況及び震災前よりも発展させた水産業を目指した取り組みが紹介されるとともに、今後も各県漁業士が連携し、一丸となって取組を進めることの重要性を再認識するなど、活発な討論が行われました。



平成 26 年度宮城県漁業士会中部支部地区懇談会を開催しました！

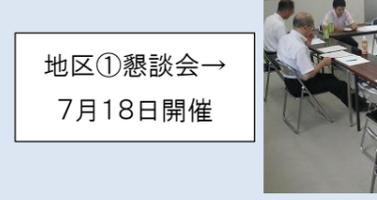
漁業士会中部支部では、震災からの 2 年間は、漁業士会活動より個人の復旧を優先し、事務局としても浜の皆様に向う機会が減り、会員間や事務局間で意見交換する機会も少なくなっていたことから、支部会員や青年部の若い世代と意見交換をする場として、懇談会を開催することとしました。

懇談会は地区①(十三浜～女川)と地区②(表浜～石巻湾)の 2 地区に分け、7 月 17、18 日に開催し、二日間を通して、計 13 名(漁業士 9 名、青年部員 5 名)の皆様にご出席いただきました。

懇談会では、県水産技術総合センターから種ガキ直前情報に係る情報提供、出席者からは各浜の現状について活発な意見交換をしていただきました。



←地区②懇談会
7月17日開催



地区①懇談会→
7月18日開催

事務局からのお知らせ

◆平成 26 年度青年漁業士養成講座を開催しました◆

青年漁業士の認定には、県が実施する青年漁業士養成講座を履修することが要件の一つとなっており、来年度の青年漁業士認定候補者 17 名(中部支部管内 15 名)の皆様が、8 月 28 日～29 日の二日間受講されました。

受講された皆様については、平成 27 年 5 月に開催する認定検討会で審査を受け、平成 27 年 6 月に開催する認定証交付式を経て、正式に青年漁業士となる予定です。



【追伸】管内かき処理場の復旧も一段落し、ようやく足並みを揃えてのかき剥き開始となりました。大変喜ばしいことと存じます。これからますます忙しい時期を迎えられると思いますが、お体にはくれぐれもお気を付け下さい。さて、生かき出荷が始まり、小生さっそく酔がき、かき鍋、カキフライで楽しませていただきました。また、この時期、個人的にもうひとつ楽しみにしているのが秋サケです。先日はスーパーを巡回し生筋子を確保。好物のイクラを堪能しているところです。(ご飯がはかどる事務局 S)

宮城県漁業士会中部支部事務局
(宮城県東部地方振興事務所水産漁港部水産振興班)
〒986-0812
石巻市東中里1丁目4-32 石巻合同庁舎4階
TEL 0225-95-7914 FAX 0225-96-2698